

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教 員 氏 名	
高松 正毅 先生	おすすめメッセージ
<p>① 図書名：人生を変える読書 人類三千年の叡智を力に変える</p> <hr/> <p>著 者：堀内 勉</p> <p>出版社：Gakken ISBN：9784054068841</p>	<p>人生は出会いによって変わる。その最大のものは人との出会いかもしれないが、本との出会いがそれに次ぐ。まずは本書の末尾「参考文献」を見てほしい。本書に挙げられた本を実際に手に取って読むことで、読み手である君は変わりうる。本を読むことの価値を、心の底から真に実感したい君に本書を強く勧めたい。本書の次は『読書大全』だ。</p>
<p>② 図書名：本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む 走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚</p> <hr/> <p>著 者：かまど・みくのしん</p> <p>出版社：大和書房 ISBN：9784479394358</p>	<p>こんな本の読み方があるのか！ みくのしんは、音読によって一場面一場面を映像化しながら読む。台詞は音声化し、BGM も流す。CM が入るタイミングまで指定する。本書は、作家の高橋源一郎が「全小・中・高・大学生の必読文献だろ、これ」を言うのもうなずける「現代の奇書」である。</p> <p>大学生の6割は本を読まないとする調査結果がある（大学生協連・文化庁）。これは、大学生になって突然読まなくなったのではなく、高校までにも読んできてはいない。そんな本を読んだことがない学生諸君に、本書を強く勧めたい。</p>
<p>③ 図書名：僕が若い人たちに伝えたい 2035 年最強の働き方</p> <hr/> <p>著 者：ひろゆき（西村博之）</p> <p>出版社：Gakken ISBN：9784054070042</p>	<p>何のために大学に進学するのか。この問いに説得的に答えるのは実は難しい。これに対し、ひろゆきの答えは明快である。「将来どうなってもなんとかなる」と思える状態を目指すには、人生の選択肢を増やしていくしかない。日本は学歴社会で、大卒の資格は（その大学がたとえFランであっても）、選択肢を確実に広げる。もう一つ重要なのが英語力で、これには本書の一章を割いて説明している。</p>